

家畜保健衛生所

家畜の病気の発生予防とまん延防止、家畜衛生技術の普及と指導を通して畜産経営の向上を図るため、県内3か所に家畜保健衛生所を設置しています(それぞれ支所があります)。

家畜保健衛生所では、各種疾病に関する検査をはじめとして、農家の巡回による家畜衛生知識の普及、技術指導、繁殖に関する専門的指導等を行っています。

その他、動物用医薬品や飼料の適正な使用、家畜排せつ物の適正処理など総合的指導を行っています。



畜産総合センター・段戸山牧場・種鶏場

畜産総合センター本場では、牛と豚の種畜を供給しています。牛については、優秀な血統の乳用牛や和牛をバイテク技術により増殖し、譲渡しています。豚については、独自に開発した3品種(デュロック種「アイリスナガラ」、ランドレース種「アイリスL3」、大ヨークシャー種「アイリスW3」)の系統豚を譲渡しています。一般に、養豚農家では3品種の親豚を掛け合わせ(三元交配)豚肉を生産していますが、独自の系統豚3品種の供給ができるのは全国で愛知県だけです。

また、段戸山牧場では、広大な草地の中で優良な乳用雌子牛を集団育成し、足腰の強い優良な乳用後継牛として農家に供給しています。

種鶏場では、独自に開発した愛知県特産の名古屋コーチンを維持・増殖し、県内の指定ふ化場を通じ、ひなを農家に譲渡しています。



農業総合試験場

農業総合試験場では、畜産研究部に養牛、養豚、養鶏、畜産環境の4研究室を設置し、牛、豚、家きん及び家畜ふん尿処理の試験研究を行っています。品質の優れた系統豚「アイリス」の造成、「名古屋コーチン」の育種、飼料資源の利用、畜産環境の改善、牛乳、肉、卵の品質向上などの研究に取り組んでいます。

獣医学生のための
愛知県ガイドマップ

保健所

保健所の獣医師は、食品衛生監視員や環境衛生監視員、薬事監視員として勤務しています。

食品衛生監視員としては、食品営業施設の衛生状態や食品の取り扱い方法などについて監視を実施し、安全な食品が提供されるよう指導しています。また、食品営業施設の営業許可に関する事務も行っています。食中毒が発生した際は、患者や施設の調査を通じて原因究明を行うとともに、再発防止のための施設指導等を行います。

環境衛生監視員としては、理容所や美容所、クリーニング所等の施設の監視指導や営業確認に関する事務を行っています。

薬事監視員として薬局の開設計許可等、薬事に関する業務も行なう等、保健所獣医師の業務は広範囲にわたります。

また、感染症発生時の疫学調査も行います。獣医師が疫学調査に従事するのは、全国的にも珍しいようです。



衛生研究所・食品衛生検査所

衛生研究所は、科学的根拠提供のための(科学的・技術的)中核機関として、①調査研究、②試験検査、③研修指導、④公衆衛生情報の収集・解析・提供を四つの柱とする役割を担っています。

食品衛生検査所は名古屋市中心部市場北部市場内に設置されており、市場に搬入される魚介類や青果物などの食品の監視指導を行い、残留農薬や抗生剤などの検査も定期的に実施しています。

また、食品衛生検査所の駐在がと畜場内に設置されており、獣医師であると畜検査員が、一頭ずつ検査を行っています。BSE(牛海綿状脳症)の検査も行っています。



動物愛護センター

動物愛護センターは本所及び3支所で「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、県民の動物愛護精神の高揚及び人と動物が共生できる「より良い社会」を構築するため、さまざまな事業を行っています。

特に愛護事業に力を入れており、収容した犬猫について健康状態や性格をみて譲渡可能と判断した場合は健康管理を行い、とりわけ成犬については、しつけを行ったうえで譲渡しています。

また、飼いやしつけ教室の開催、ふれあい教室の実施等県民へ直接愛護精神を広げる取り組みも行っています。

さらにペットショップ等の動物取扱業の施設や動物園等の特定動物飼養施設の立入を行い、飼養施設や動物の飼養の状況が適切であるか確認しています。



獣医学生のための愛知県ガイドマップ
発行 令和7年4月
作成 獣医学生のための愛知県ガイドマップ作成委員会
(愛知県保健医療局・農業水産局)